

# トピック

## 第15回計測工業展盛況に開催される

日本電気計器工業会主催の第15回計測工業展は11月20～24日まで東京晴海の国際貿易センターで開催された。2年振りに開催された本展示会は出品社の数もこれまでの最高の87社を数え、来場者も3万人を越え盛況であった。また今回はこの東京会場に先立つ1ヶ月前に大阪会場（大阪市港区、港会場）でも開催された。

本展示会の各社の出品物の傾向として測定器、工業計器ともコンピュータを中心としたシステム機器として構成されており、また公害関連の測定器のウエイトも高くなっている。

本展示会に出品した株式会社共和電業では16小間と大きなスペースをとり、製品をブロック別に分けて新製品を多数出品した。そのなかで次のようなものが注目された。

ひずみ測定器のコーナーは携帯型デジタルひずみ測定装置（SD-400A）、ローパスフィルタを内蔵したひずみ測定器、シグナルコンディショナ、変換器のコーナーでは低容量トルクメータ（TP-L、M型）、高速スプリング（RBE-E型）、記録器では33チャンネルデ

ータコーダ（RTP-700A）、直視式電磁オシログラフ（RMV-500型）、またデータ集録装置ではデジタル磁気テープにデータ集録するDAAS-3000B、地震時、強風時などの構造物の挙動を観測する動態観測装置などである。

